

岩手県薬物乱用対策実施要領

昭和 5 6 年 1 1 月 2 0 日

岩手県薬物乱用対策推進本部決定

第 1 趣旨

覚せい剤等薬物乱用が依然として増加し、今や一般市民や青少年層にまで広がるとともに、乱用者による犯罪が多発する等憂慮すべき状況にある。

このため、薬物乱用防止対策に関して推進を図るとともに、薬物乱用防止の実効を期するよう努めるものとする。

第 2 実施機関

岩手県薬物乱用防止対策推進本部、関係行政機関、団体

第 3 実施事項

1 啓発事業の推進

(1) 広報啓発活動

- ア ポスター、パンフレット、リーフレットの作成及び頒布
- イ 新聞、ラジオ、テレビ等報道機関の広報紙等による広報
- ウ 県及び市町村その他関係機関の広報紙等による広報
- エ 講習会、座談会等の開催及びスライド、映画等の上映

(2) 指導者層及び事業主に対する啓発事業

ア 指導者層に対して推進する事項

- (7) 教職員、民生（児童）委員、児童福祉司、保護司、青少年関係指導者、防犯関係指導者、労働関係指導者その他各種団体の指導者に対する啓発と指導

(1) 各種団体の自主的な組織活動の促進

イ 土木建築業、交通運行業等の関係の事業主等に対して推進する事項

- (7) 事業主、労働組合等に対する啓発と指導
- (1) 事業所の自発的な活動の促進
- (9) 従業者に対する保健衛生教育の徹底

ウ 風俗営業等関係者に対して推進する事項

- (7) 各種飲食店、風俗営業等の関係団体に対する自発的な活動の協力要請
- (1) 特に深夜に営業する飲食店、興行場等の営業者に対する啓発と指導
- (9) 従業員に対する保健衛生教育の徹底

(3) 各種運動との連携

この要領の実施にあたっては、不正大麻・けし撲滅運動、麻薬・覚せい剤禍撲滅運動、社会を明るくする運動、青少年をすこやかに育てる運動等関連のある各種運動と密接に連携して推進するものとする。

(4) 市町村への要請

覚せい剤等薬物の乱用及びその弊害を根絶するためには市町村の積極的な協力が必要であるので、関係機関等の協力を得て、この要領に沿った措置を推進するよう要請するものである。

2 取締りの強化と厳正な処分

- (1) 覚せい剤等の密輸、密造及び密売組織に対する取締り
- (2) 覚せい剤、シンナー等取扱者の指導取締り
- (3) 薬物乱用者に対する取締り
- (4) 大麻栽培者に対する指導取締り及び不正大麻、けしの発見と除去
- (5) 覚せい剤、麻薬等薬物事犯に対する徹底した捜査と厳正な処分

3 乱用者に対する対策の推進

- (1) 乱用を助長するような社会環境の浄化の促進
- (2) 中毒者に対する医療保護の充実
- (3) 乱用者等に対する更生指導の充実
- (4) 乱用者の実態調査及び研究の実施

第4 薬物乱用防止強化月間の実施

第3の事項を実施するにあたっては、より一層の実効を期するため、毎年度、全国一斉の薬物乱用の防止広報及び取締りの強化月間運動を実施するものとする。